

ダイト軒天化粧シート用品 塗料

ダイト軒天化粧シート用品塗料 注意事項

1. ダイト軒天シリーズ専用で調色しています。他の製品には使用しないでください。
2. 塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
3. 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈率（0～10％）をまもってください。
4. 事前に試し塗りをして確認してください。
5. 使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
6. 絶えず結露が発生するような部位での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。
7. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
8. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
9. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
10. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。
11. 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
12. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
13. 被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。木口面へ塗装する際は、2回塗りしてください。1回ではムラが目立つ場合があります。
14. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85％以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
15. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
16. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。

17. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
18. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
19. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
20. 塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触しないように注意してください。
21. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
22. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
23. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
24. 塗装方法により色相が多少変化する場合があります。
25. 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
26. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。同梱のベンダー、はけは使い捨てです。
27. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。つや消し剤が沈降している場合がありますので、缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
28. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
29. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
30. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

危険	
危険有害性情報	発がん性、特定標的臓器毒性(反復ばく露)、水生生物に有害

内容物:	塗料本体	1本
	スポンジベンダー	1本
	はけ(小)	1本
	本書	1部